令和6年度 静岡市埋蔵文化財センター 第3回テーマ展

よみがえる小島陣屋

～ 御殿書院の移築復原 ～

小島陣屋は、江戸時代の小島藩主・瀧脇松平氏が政治と生活をした場所で、宝永元年（1704）から明治維新まで存在しました。高石垣を用いた城郭風のつくりが大変貴重であるとして、国の史跡に指定されています。

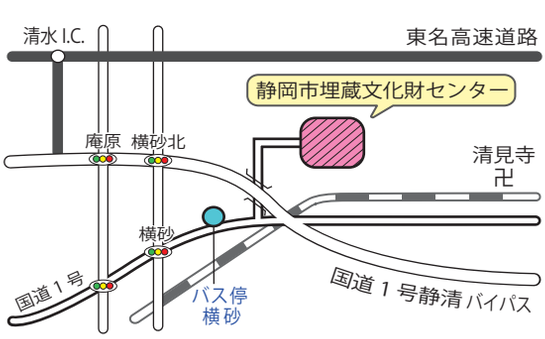
陣屋に建立された御殿の一部である書院は、廃藩後小学校として使用され、小学校移転後は小島町内の国道５２号沿いに移築されていました。

静岡市では、小島陣屋跡整備事業の一環として、書院を当時の姿に近づけつつ陣屋跡に再移築する復原工事を進めました。この度、工事完了に伴ってテーマ展を開催します。復原工事の様子をパネルで紹介するとともに、発掘調査の成果、出土した遺物も展示します。ぜひご覧になり、小島陣屋の歴史的価値に触れてください。

書院内　床の間

埋文ぼうや

令和７年
2025年 **2月2日**（日）～
3月28日（金）



JR 清水駅しずてつバス 三保の山手線・但沼車庫行き乗車
「横砂」下車 徒歩 10 分

開館時間　**9:00 ～ 16:30**
休 館 日　**土・日・祝日**

※ただし、2/2（日）・2/16（日）・3/2（日）・3/16（日）は開館

入館無料　駐車場９台まで可

静岡市埋蔵文化財センター

静岡市清水区横砂東町 33-2　☎ 054 - 367 - 9436